

農業拠点施設指定管理者 事業報告評価総括表
【管理業務の実施状況】

施設名	農業拠点施設
指定管理者名	株式会社あびべじ
指定管理期間	平成29年4月20日 ～ 平成32年3月31日
モニタリング期間	平成29年7月1日 ～ 平成29年9月30日

評価…3点：評価の視点を満たしており、かつその内容が優れている。 2点：評価の視点を満たしている。

1点：評価の視点を満たしているとはいえないが、取り組みは見られる。 0点：評価の視点を満たしておらず、取り組みがみられない。

総合評価…S（特に優れている）：市評価と選考委員評価の合計得点が6 A（優れている）：市評価と選考委員評価の合計得点が5以上6未満

B（普通）：市評価と選考委員評価の合計得点が4以上5未満 C（多少不十分である）：市評価と選考委員評価の平均得点が2以上4未満

D（不十分である）：市評価と選考委員評価の合計得点が2未満

※各評価項目を事業計画書・収支計画書・協定書・事業報告書・実地調査の結果及び事業報告確認書に基づき以下の評価の視点で評価しました。

評価項目	評価の視点	指定管理者評価	指定管理者コメント	市評価	市意見	選考委員会評価	選考委員会意見	市と選考委員会評価合計点	総合評価	
事業の実施に 関する業務	法令順守	事業の実施にあたり、関係法令を遵守している。	3	・社会保険労務士の指導に基づくスタッフ雇用 ・衛生責任者により調理における衛生面の研修雇用 ・食品衛生法その他関係法令を遵守している。	2	事業計画書等に記載のとおり、関係法令を遵守している。	2.0	特になし	4.0	B
	農産物販売	我孫子市産農産物を販売し、利用促進や顧客の確保などに向けた取り組みが行われている。	3	・クレジットカード利用開始 ・直売所事業部スタッフによる販促会議（月1回） ・委託業者に季節商品陳列依頼他多数販促活動の実施をしている。	2	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保に向けた取り組みが見られる。	2.2	・収支両面の改善を念頭に置き、効果的・効率的な経営が必要。人材育成と生産者に対する指導を強化し、付加価値の提供と商品の質の向上を図ることを期待する。 ・環境保全型農業のPR強化を。	4.2	B
	加工品販売 開発・製造	我孫子市産農産物を使用した加工品の販売や開発、製造を行い、利用促進や顧客の確保などに向けた取り組みが行われている。	3	・惣菜では月ごとに新メニューを追加し、またお弁当の販売を開始した。 ・お菓子では野菜入りのスイーツを数多く開発して好評である。	2	事業計画書等に記載のとおり、加工品の販売や開発・製造に取り組んでいる。	2.6	・既存商品の改善や新商品開発など、消費者への訴求に係る取組みの強化が必要。 ・7月は新メニューの追加が顕著で、売上げに確実に繋がっている点は評価できる。	4.6	B
	飲食施設	我孫子市産農産物を使用した飲食物を提供し、利用促進や顧客の確保などに向けた取り組みが行われている。	3	・メニューの殆どは地元産農産物を利用している。 ・顧客ニーズを取り入れたメニューや季節に合わせたメニューを追加している。 ・顧客ニーズ把握のためにアンケートの実施	2	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保などに向けた取り組みが見られる。	2.0	・既存商品の改善や新商品開発など、消費者への訴求に係る取組みの強化が必要。 ・3時以降の集客のため、割引サービスを行ってはどうか。 ・より多くの取組みが必要。	4.0	B
	学校給食	市内小中学校の学校給食に安定した我孫子市産農産物の提供を行っている。	3	・年度当初の目標値には到達しないが、着実に提供している。 ・食育交流として市内小学校に農産物の説明と、野菜の栽培指導を行っている。	3	事業計画書等に記載のとおり、安定した我孫子市産農産物の提供を行っており、経営計画書に沿った収支を達成している。また、学校給食への食材提供だけでなく、食育事業に積極的な取り組みが継続して見られる。	2.8	・昨年度に比べて供給量が増加しており、食育の取組みは、施設の多面的な機能のうちでも重要であり評価できる。 ・食育事業を含め、より多く実施してほしい。	5.8	A
	イベント	農家と市民の交流や利用者増加のつながるイベントを実施している。	3	・7月に枝豆フェア開催 ・8月に花火大会関連農産物、および加工品販売を行う。 ・9月に自主イベントとして新米フェアの実施	2	事業計画書等に記載のとおり、イベントの実施に取り組んでいる。	2.4	・積極的にイベントを実施している。 ・自主開催以外のイベントにも積極的に参加してほしい。 ・他団体との連携による新規イベントの取組みも必要。	4.4	B
	情報発信	WEBサイトやイベント等を利用し、積極的に情報発信を行っている。	3	・自社情報誌、あびこん通信7,8,9月号発行 ・WEBサイト（ホームページ、フェイスブック）で発信 ・アビシルベの情報番組、アビストリームに生出演	3	事業計画書等に記載のとおり、積極的な情報発信を行っている。これまでの情報発信に加えて、アビシルベの情報番組に出演したり、企画広報部を設置し体制強化にも努めている。	3.0	・フェイスブックの更新頻度も高く、WEB以外にも紙ベースやアビストリームやマスコミの活用など積極的な情報発信を行っている。	6.0	S
	経費縮減	適正な人員配置を行い、仕入れロスや一般経費の縮減に努めている。	3	・シフト作成で適正であるか役員のチェックを受けている。 ・コピーは出来るだけ両面印刷を行っている。 ・日常よく使用するものはまとめ買いで安く購入している。 ・ガスの料金プランを見直し変更した。	2	事業計画書等に記載のとおり、経費縮減に努めている。	2.0	・人件費が売上げに対して多い。	4.0	B
利用者への 対応業務	市民平等	市民の平等な利用の確保に取り組んでいる。	3	・ポイントカードの導入で消費者還元を平等に行っている。 ・登録農家以外の農家には積極的に声掛けしている。 ・直売所部門では通路を広くして車椅子対応にしている。 ・レストラン部門では子供椅子、食器の用意をしている。	2	事業計画書等に記載のとおり、市民の平等な利用の確保に取り組んでいる。	2.2	特になし	4.2	B
	ニーズ把握	出荷者及び利用者のニーズを積極的に把握し、サービスに反映している。	3	・顧客ニーズの把握のためにアンケートの実施 ・情報提供と出荷者ニーズの把握を兼ねた全体会を月1回開催 ・他直売所に出向いて価格調査等の情報収集を行っている。	2	事業計画書等に記載のとおり、ニーズの把握に努め、サービスに反映している。	2.2	・アンケートの実施と意見を踏まえた改善に取り組んでいることは評価できる。今後は、POSシステムの活用による消費動向の分析とそれを踏まえた改善に取り組む必要があると考える。	4.2	B
	苦情対応	利用者からの苦情等を受けて対応するための体制が整っている。	2	・苦情の把握と対応フロー図に基づきスタッフ朝礼や昼礼で周知している。	2	事業計画書等に記載のとおり、苦情を受けて対応する体制が整っている。	2.0	・商品の在庫状況の把握などスタッフと農家の連携を密に。 ・苦情対応の具体的な現状を知りたい。	4.0	B
	利用料金	利用者から利用料金を適正に徴収している。	3	・適正に処理している。	2	事業計画書等に記載のとおり、利用料金を適正に徴収している。	2.2	特になし	4.2	B

農業拠点施設指定管理者 事業報告評価総括表
【管理業務の実施状況】

評価項目	評価の視点	指定管理者評価	指定管理者コメント	市評価	市意見	選考委員会評価	選考委員会意見	市と選考委員会評価合計点	総合評価
維持設 管及 業理 び 務に設 備 す 等 の	危機管理	2	消防及び震災等の避難対応、マニュアル作成、緊急時連絡体制の確立	2	事業計画書等に記載のとおり、緊急事態に対する予防策や対応できる体制を整えている。	2.0	・100%は無いつもりで、気を抜かずに取り組んでほしい。	4.0	B
	衛生管理	3	・日常作業の中で消毒の徹底 ・スタッフの健康管理について、健康管理チェック表を作成し、健康管理を行っている。	2	栽培履歴の確認や作業着着衣の徹底、手洗いの励行等により、適切に対応している。	2.0	・健康チェック表など形骸化しないよう、今後も緊張感をもちた管理の継続を望む。 ・健康管理のチェックをより正確に。 ・100%は無いつもりで、気を抜かずに取り組んでほしい。	4.0	B
	備品管理	2	・あびページで購入した分の備品台帳を作成した。	2	事業計画書等に記載のとおり、備品を適切に管理している。	2.0	・100%は無いつもりで、気を抜かずに取り組んでほしい。	4.0	B
	清掃	3	・清掃スタッフを雇用し毎日清掃活動を行っている。 ・清掃マニュアルを作成し清掃している。 ・加工室、及び厨房内は現場スタッフで日々行っている。	3	事業計画書等に記載のとおり、施設が清潔な状態を維持するよう清掃専門のスタッフを雇用し毎日の清掃を行っている。	2.4	特になし	5.4	A
そ の 他	市民の雇用 市内業者の 活用	3	・市内雇用者82%以上の雇用をしている。 ・市内業者51%（51件中26件）	3	事業計画書等に記載のとおり、積極的に市民の雇用と市内業者を活用している。登録業者、団体については半数以上が市内業者で、雇用者については、市内在住者が6月の約75%から約83%に増えている。	2.8	・市内雇用者が8割を超える結果になったことは、努力が窺える。	5.8	A
	人材配置	3	・シフトにて適材適所でローテーション制にしている。 ・欠員が出た時には内部での異動で人員を出来るだけ増やさない工夫をしている。	2	事業計画書等に記載のとおり、安定的な管理運営を行うための適正な人員を配置している。	2.0	・これまでの運営経験を踏まえて、効率化に向けた人員の適正配置について再検討を期待したい。 ・研修期間の人材ロスがあるのかもしれない。	4.0	B
	人材育成	2	・接客マニュアルを作成（直売所、レストラン） ・レストランサブ責任者にするための研修雇用をしている。 ・直売所部門で、新人研修雇用をしている。	2	事業計画書等に記載のとおり、研修計画に沿って、人材育成を図っている。	2.0	・来訪者の印象に残る接遇を目指し、マニュアルを基本とした柔軟な接客対応を期待したい。 ・研修期間の人材ロスがあるのかもしれない。 ・ミスを起こした際の対応に問題有。マニュアルの徹底を。	4.0	B
	個人情報	3	・PCに関しては、取扱者を特定している。 ・ペーパー類の情報は施錠できる保管庫にて保管し、情報類の持ち出しはしていない。	2	事業計画書等に記載のとおり、個人情報の保護体制を整えている。	2.0	・念には念を入れて実施してほしい。	4.0	B
	連携体制	3	・出荷者に関しては、月1回の全体会で情報交換をしている。 ・あびこ型地産地消推進協議会と連携協力し、イベントや農力発見プロジェクトの活動をしている。 ・下田市と連携のための商談を行っている。	3	事業計画書等に記載のとおり、各団体と連携した事業の取り組みを行っている。農力発見プロジェクトやジャパンバードフェスティバル実行委員会、道の駅しょうなんとの連携、農商工連携に向けた会議など多くの会議に参加しており、今後の成果に期待できる。	2.8	・他団体との連携による新規イベントの取組みも必要。	5.8	A
	平均点	2.8	平均点	2.2	平均点	2.3	平均点	4.5	

指定管理者選考委員会総評

収益の向上による経営の安定化を図るため、直売所・加工・飲食の各部門において、改善に向けた取り組みの強化が求められる。一方、農業拠点施設としての“我孫子の農業振興”という大きな目的に沿った農家の育成、支援、連携強化や食育などの収益には直結しなくとも重要な事業があり、これらに注力している点は評価できる。今後は、これまでの運営において明らかになった課題を洗い出し、対策を講じていくとともに、消費者のニーズを絶えず把握し、既存の事業の精査と新たな事業展開に取り組みながら、より多くの方が訪れ、必要とされる直売所となるようさらにより施設運営に引き続き努めていただきたい。